

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	消防広域化事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	O2	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	消防総務課			
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	須藤 恭成			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民 消防職員	意図	行財政上の様々なスケールメリットを実現する。
事業内容	災害時の初動体制の強化・効果的な部隊運用等を図るため、市町村単位の消防組織を広域化する。			
事業開始から現在までの状況変化	平成20年2月に千葉県の「消防広域化推進計画」が策定され、県内31消防本部を7消防本部に移行し、流山市は松戸市・柏市・野田市・我孫子市との組み合わせで枠組みが示されたが、それぞれの市の事情も異なり停滞している状況であり、国が示す広域化の推進期限は平成30年4月1日までとしている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	5市による調整会議	0	0	0	回	↓↓↓	
	②	同上会議参加人員	0	0	0	回	↓↓↓	
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 各市とも広域化へは消極的になっている。	
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)								
事業費(b)(円)								
うち一般財源								
職員給与費(c)(円)								
人役・職員(人)								
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	C 必要性は低下すると考えられる	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		市関与の必要性	D 国・県・広域自治体で担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	VI 縮小（改善ではなく、他の事業との統合又は縮小すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	広域化について検討を行っていない。	③取組の課題	各市とも広域化の動きは鈍化している。
②今年度(H28)に実施した取組	会議等開催なし。	④今後の改善計画	平成29年4月1日消防庁より、消防の広域化の更なる推進について通知がなされたことから、今後の動向を注視したい。